

令和7年度 次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業 公募説明資料

令和7年2月

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）
医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課 ヘルスケア研究開発課

1. 事業の概要（公募要領 第1章）
2. 公募対象課題（第2章）
3. 応募要件、選考スケジュール等（第2, 3章）
4. 提案書類の作成・提出（第4章）

1. 事業の概要（公募要領 第1章）
2. 公募対象課題（第2章）
3. 応募要件、選考スケジュール等（第2, 3章）
4. 提案書類の作成・提出（第4章）

革新的なヘルステックの実用化に向けた研究開発に取り組み、起業を目指す研究者に対し、研究開発資金の助成を行います。加えて、これらの研究者に対して、伴走支援機関を通じて、起業する上で必要不可欠な専門的知識の習得に向けた教育プログラムの提供や個別メンタリング等、革新的なヘルステック開発を行うスタートアップ企業の創出に向けた支援を行います。

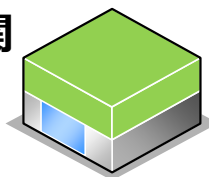


我が国において、ヘルステック領域における理想的なスタートアップ・エコシステムを構築し、**スタートアップ企業によるイノベーションの牽引を加速化**させる。

次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業

- ・自らがスタートアップを起業させる気概と有望なシーズを持つ研究者に対して、魅力的なスタートアップとして成功するための教育プログラムを提供。
- ・資金や座学だけでなく、個別化されたハンズオンやチームビルディング支援により、EXITを目指して強力に牽引。

育成支援機関



必要に応じて助言・指導

外部専門家

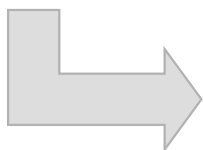
東京大学附属病院を採択、2024年より活動開始

各研究者に応じた
個別プログラムの提供

育成支援機関に
ノウハウを蓄積



スタートアップを目指す
大学・企業等の研究者
R6 : 10件
R7 : 8件 (今回公募)
(R6~R8、30件予定)



魅力的なスタートアップの
起業に向けた支援

① 開発支援 (2年間)



1000万/件×10件

- ・プロトタイプ作製費
- ・先行研究、知財の調査費用

2年度目

臨床試験等を実施する場合、
3,000～3,500万円に増額

② 育成 (伴走支援型指導)



- ・座学
- ・事業化メンタリング
- ・資金調達方法取得
- ・徹底したハンズオンによる経験の蓄積
 - ・EXITを見据えた事業化計画の作成
 - ・各種起業手続き
 - ・薬事・保険相談 etc.
- ・スタートアップ、企業での実務経験付与

③ マッチング



- ・ニーズ調査
研究者がヘルステックSUとして必要な人材を検証
- ・マッチング
調査した人材と研究者をマッチング、事業推進するチームビルディング
ピッチ開催等によるVCとのマッチング

事業期間中に起業

終了1年以内に資金調達
5～7年以内に製品を上市

1. 事業の概要（公募要領 第1章）
2. 公募対象課題（第2章）
3. 応募要件、選考スケジュール等（第2, 3章）
4. 提案書類の作成・提出（第4章）

研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等について



#	公募研究開発課題分野	補助金の規模 (間接経費を含まず)	補助事業 予定期間	新規採択課題 予定数(8 課題)
2	医療機器研究開発	1 課題当たり 年間10,000 千円 (上限) ただし、2 年目、研究計画書に基づき、 臨床研究、大型動物試験、カダバー 試験を実施する場合は、年間 35,000 千円 (上限)	令和7年 6 月 (予定) ～ 令和8年度末	0～6課題程度
3	ヘルスケア関連製品・サービス研究開発	1 課題当たり 年間10,000 千円 (上限) また、2 年目、研究計画書に基づき、 実社会環境での実証試験を実施する 場合は、年間30,000 千円 (上 限)	令和7年 6 月 (予定) ～ 令和8年度末	0～2課題程度

(1) 医療機器研究開発 ＜プログラム医療機器＞

従来の診断・治療フローを大幅に改善する革新的なプログラム医療機器、治療困難な疾患に対するプログラム治療機器等で、目指すプログラム医療機器のコンセプトが決定している研究開発を対象とします。

＜その他の医療機器＞

従来の診断・治療フローを大幅に改善する革新的な医療機器や、治療困難な疾患に対する治療機器、革新的な埋め込みデバイスなど、他社が容易に開発に踏み切れないほど開発リスクが高く、一方で成功すれば大きなリターンを見込める機器の開発を主な対象とし、目指す医療機器のコンセプトが決定している研究開発を対象とします。

(2) ヘルスケア関連製品・サービス研究開発

健康維持・管理、高齢者・認知症当事者のQoL向上、介護する側の負担軽減等の課題に対して、従来の支援方法や他の機器を用いた場合と比較して優位であり、かつイノベーションにより新たな価値を提供するヘルスケア機器など、国内外へ広く普及し、大きなリターンを見込めるヘルスケア機器、non-SaMD等の開発を主な対象とします。

公募対象となる研究開発課題の概要について



(1) 医療機器研究開発 ＜プログラム医療機器＞

事業終了後 1 年以内に資金調達等、何らかの形で自立運営できることを目標とし、事業終了後 3 年以内に臨床研究・治験への移行、または、5年以内に上市、臨床試験・治験実施の場合は7年以内に上市を目標とします。

＜その他の医療機器＞

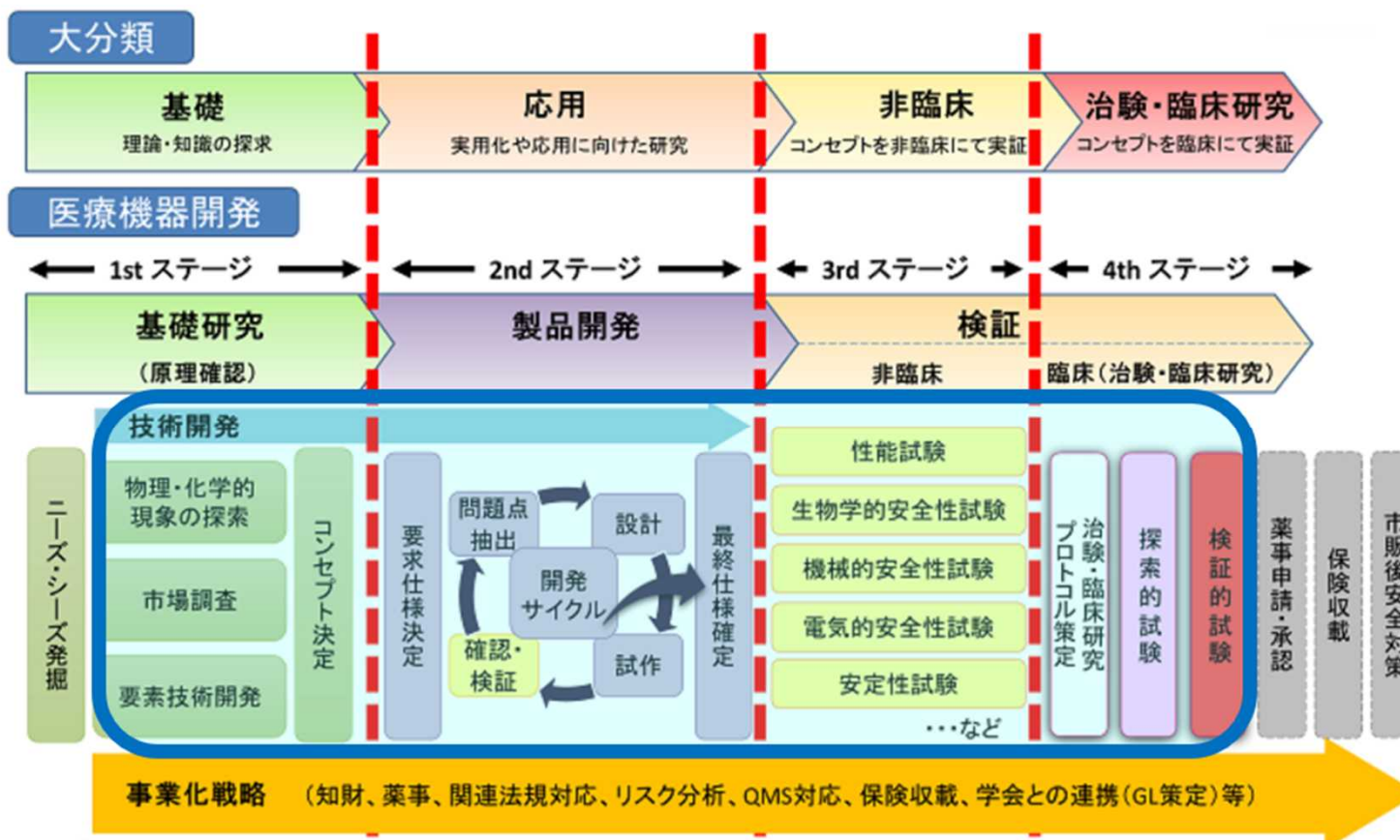
事業計画書に基づく国内での起業を実現することを原則とします。さらに、事業終了後 1 年以内に資金調達等、何らかの形で自立運営できることを目標とし、事業終了後 3 年以内に臨床研究・治験への移行、または、5年以内に上市、臨床試験・治験実施の場合は7年以内に上市を目標とします。

(2) ヘルスケア関連製品・サービス開発

事業計画書に基づく国内での起業を実現することを原則とします。さらに、事業終了後 1 年以内に資金調達等、何らかの形で自立運営できることを目標とし、事業終了後5年以内の上市を目標とします。

いずれも事業期間中にEXITを見据えた事業計画書を作成することを必須とし、事業計画書に基づく**起業**を実現することを原則とする。

研究開発フェーズ



本事業で主として対象とする開発フェーズは、基礎・応用フェーズを想定しております。但し、本補助事業期間中にスタートアップを起業、事業終了後 1 年後までに資金調達等（自立運営）ができることを応募の条件とします。なお、提案時すでに提案の課題で起業している研究者（創業メンバー含む）は、本公募の対象とはなりません。また、本事業及び「若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業」で採択された研究代表者、研究分担者は、本公募の対象とはなりません。

1. 事業の概要（公募要領 第1章）
2. 公募対象課題（第2章）
3. 応募要件、選考スケジュール等（第2, 3章）
4. 提案書類の作成・提出（第4章）

応募資格者（SUヘルステック研究開発）

- 研究開発代表者は応募の研究テーマの分野での起業経験（創業メンバー含む）がないこと。
- 研究開発代表機関または研究開発分担機関が研究者のCEOとしての起業を認めていること。
（CEOとなる研究者は、応募の研究テーマの分野での起業経験（創業メンバー含む）がないこと）
- 本事業に参加している期間中、他の職を主たる職としない者。
- 本事業に参加している期間中、30%以上のエフォートを確保できる者。
- 本事業に参加している期間中は、本事業のプログラムへの参加を現職より優先できる者。
- 応募課題は、目指す製品等のコンセプトが決定しており、事業期間内に事業計画書に基づく**起業**を実現できることを原則とし、事業終了後1年以内に資金調達等、何らかの形で自立運営できることを目標とし、医療機器については、事業終了後3年以内に臨床研究・治験への移行、または、5年以内に上市、臨床研究・治験実施の場合は7年以内に上市、ヘルスケア関連製品・サービスについては事業終了後5年以内の上市できる蓋然性が高いもの。

選考スケジュール



項 目	日 程
提案書類受付期間	令和7年2月7日（金） ～令和7年3月10日（月）13時00分【厳守】
書面審査	令和7年3月上旬～令和6年4月 初旬（予定）
ヒアリング審査	令和7年4月15日（火）
採択可否の通知	令和7年5月下旬（予定）
研究開発開始	令和7年6月下旬（予定）

1. 事業の概要（公募要領 第1章）
2. 公募対象課題（第2章）
3. 応募要件、選考スケジュール等（第3, 5章）
4. 提案書類の作成・提出（第4章）

応募に必要な提案書類

	必須/任意	必要な提案書類	備考
1	必須	(様式1) 研究開発提案書※1	
2	研究開発分担機関を設定する場合は必須	(様式2) 承諾書(研究分担者用) 写し	
3	該当する場合は必須	医療機器開発マネジメントに関するチェック項目記入表	「医療機器研究開発」に応募の場合は必須、「ヘルスケア関連製品・サービス」に応募の場合は不要
4	該当する場合は必須	ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式	ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合
5	研究開発代表者の所属機関がスタートアップ企業等の場合は、必須	財務状況資料 ・財務スコアリング ・直近3年分の決算報告書(貸借対照表及び損益計算書) ・資金繰り表	ヒアリング対象になった時にAMEDから連絡後に提出

※1 e-Radの入力内容と提案書の記載内容は合致させてください。記載の不一致により審査に影響が生じた場合でもAMEDは責任を負いません。

提案書類の提出方法



提案書類の提出は、受付期間内にe-Radにてお願いします。なお、応募期間締め切り直前はアクセス集中のため不具合が発生する場合もあるため、期限に余裕を持って提出してください。

e-Radでの提出状況の確認

受付期間終了時までに応募課題の状態が「応募中」、申請の種類（ステータス）が「配分機関処理中 申請中」となれば、当該応募は正常に完了しています。

e-Radの使用に当たっての留意事項

(1) 研究機関の事前登録

代表機関・分担機関は、原則として応募時までにe-Radに登録されていることが必要となります。

(2) 研究者情報の事前登録

「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」はログインID、パスワードを取得することが必要となります。

e-Radの操作方法に関する問合せ先

操作方法に関する問合せは、e-Radポータルサイトのヘルプデスクにて受け付けます。(II-第1章を参照)

詳細はAMEDウェブサイトをご確認ください。
※掲載情報は随時更新しています。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

採用情報 ▶ アクセス ▶ お問い合わせ

YouTube X メルマガ

English Site

検索

AMEDについて 事業紹介 公募情報 事業の成果 ニュース イベント 事務手続き

トップ > 公募情報 > 令和7年度「次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業」に係る公募について

公募情報

令和7年度「次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業」に係る公募について

更新情報がある場合は
トップに表示されます。

公募情報

公募予告一覧

公募情報一覧

採択情報一覧

基本情報

公募の段階	公募
開発フェーズ	基礎的,応用,非臨床研究・前臨床研究,臨床試験,治験

ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ先：
医療機器・ヘルスケア事業部
医療機器研究開発課
ヘルスケア研究開発課
次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業 担当
E-mail: w-kiki@amed.go.jp
(電話およびFAXでのお問い合わせは受付できません。)

日本医療研究開発機構(AMED)
医療機器・ヘルスケア事業部
医療機器研究開発課
ヘルスケア研究開発課

制作・著作



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

Japan Agency for Medical Research and Development